

| 1. 科目名 (単位数) | ヒューマンライフとサービス | | | 3. 科目番号 | GELA1391 |
|----------------------------|--|------|---------------------|---------|-------------------------------|
| 2. 授業担当教員 | チームティーチング | | | | |
| 4. 授業形態 | 講義、演習、グループワーク、ディスカッション | | | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 特になし | | | | |
| 7. 講義概要 | 他者のために役立つ人材を養成する大学教育の前提となる教養教育の一環として、ライフステージに応じた社会的支援について、社会福祉、教育、心理、保育の視座から学び、共に生きる姿勢の基礎を身に付ける。また、多様な生き方について、現代社会の現状とそれに携わる専門職の意義や役割を理解する。 | | | | |
| 8. 学習目標 | ①社会福祉、教育、心理、保育の実状に触れ、専門的能力習得の重要性についての認識を深める。 ②対人援助の専門性の基礎を培う演習において、主体的な態度や意欲を養う。 ③アクティブラーニングを通して、ライフステージに応じた人間のあり方を考え、共に生きる姿勢を身に付ける。 | | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | ○グループワーク、ディスカッションのテーマについて、事前学習の自分の考えを整理しておく。その際、授業毎に設定された事前学習のテーマについて、考えを整理するための資料を作成し、その上で自身の考えも合わせて記述しておく。また、事後学習においても、授業の振り返りとして、授業の内容を加味した内容で、授業毎に設定された事後学習課題についての意見をまとめ、自分で振り返りを行う。 ○授業に際してのレポート課題 「人間のライフステージに応じた生き方を支援するために、あなたはどのような努力をするか、社会福祉、教育、心理、保育の分野の一つに焦点を当てて論じなさい。」 | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】なし 【参考書】『新・社会福祉要説』『保育児童福祉要説』 『教職科目要説 初等教育編』『教職科目要説 中等教育編』 | | | | |
| 11. 成績評価の標準と評定の方法 | ○成績評価の標準 ①社会福祉、教育、心理、保育の実状に触れ、専門的能力習得の重要性についての認識を深められたか。 ②対人援助の専門性の基礎を培う演習において、主体的な態度や意欲を養えたか。 ③アクティブラーニングを通して、ライフステージに応じた人間のあり方を考え、共に生きる姿勢を身に付けられたか。 ○評定の方法 日常の授業態度 総合点の 40% レポート 総合点の 30% アサイメントの実行度 総合点の 30% | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 本学の建学の理念を総合教育科目の修得を通じて、他者のために役立つ人材になるための基礎基本を身に付けてほしい。 | | | | |
| 13. オフィスアワー | 各担当教員による | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | |
| 一 | オリエンテーション | — | | | 伊勢崎 池袋・王子 |
| 第1回 | ヒューマンライフとサービス 現代社会生活における人間関係とコミュニケーション | 事前学習 | IT 社会の暮らしの特徴 | | 心理 鈴木克也 心理 緒方二郎 |
| 第2回 | ライフステージと自分を考える① 守られ、育てられるインフォーマルエデュケーション | 事後学習 | 支え合う人間関係の重要性 | | |
| 第3回 | ライフステージと自分を考える② 自立と集団参加、社会における役割 | 事前学習 | 育てられた自分の振り返り | | こども 堀聰子 保育 坂本真理子 |
| 第4回 | ライフステージと自分を考える③ 働くということ、社会への責任とキャリアプランニング | 事後学習 | 人との繋がることの基本、やさしさなど | | |
| 第5回 | ライフステージと自分を考える④ 社会貢献のためのコンピテンシー、キャリア・スキル | 事前学習 | 認められた時、やり遂げた時の体験 | | こども 堀聰子 保育 坂本真理子 |
| 第6回 | ヒューマンサービスの分野 福祉、保育、教育、心理 | 事後学習 | 集団の中の多様な役割や関係 | | |
| 第7回 | ヒューマンサービス① 育児に対するソーシャルサポート | 事前学習 | 自分の特徴や生活の目標 | | 教育 八重樫節子 教育 篠大輔 |
| 第8回 | ヒューマンサービス② 乳幼児に関わる専門性 | 事後学習 | 自分らしさを生かした社会人になるには | | |
| 第9回 | ヒューマンサービス③ 文化の伝承、学校教育、社会教育 | 事前学習 | 社会の一員としての自分 | | 教育 面川幸子 教育 濵井とし子 |
| 第10回 | ヒューマンサービス④ 教育に携わる専門性 | 事後学習 | 現代社会における専門性習得の重要性 | | |
| 第11回 | ヒューマンサービス⑤ 社会における心の健康とケア | 事前学習 | 社会における様々な仕事の分野 | | 教育 沼澤清一 教育 石垣久美子 |
| | | 事後学習 | 社会が専門家と認める免許、資格 | | |
| | | 事前学習 | 現代社会の子育ての難しさ | | 保育 岡野雅子 保育 戸次佳子 |
| | | 事後学習 | 子どもにも保護者にもよい支援とは | | |
| | | 事前学習 | 保育に携わる人の特質や能力 | | 保育 岡野雅子 保育 戸次佳子 |
| | | 事後学習 | 保育職の基本 | | |
| | | 事前学習 | 学校はなぜ必要か | | 教育 沼澤清一 教育 高橋勝 |
| | | 事後学習 | 子どものニーズと社会の期待に応える教育 | | |
| | | 事前学習 | 教育に携わる人の特質や能力 | | 教育 沼澤清一 教育 石垣久美子 |
| | | 事後学習 | 教育職の基本 | | |
| | | 事前学習 | 現代社会の暮らしと心の健康、心の病 | | 心理 後藤進吾 心理 魏孝棟(池袋) 望月宇(王子) |
| | | 事後学習 | 受容、理解、寄り添うなどの理解 | | |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|------|-------------------|--------------|--------------|
| 第12回 | ヒューマンサービス⑥ 企業における人間関係 | 事前学習 | 心理の専門性を企業で生かす | 心理 鎌田依里 | 心理 山田一子 |
| | | 事後学習 | リーダーシップ、チームワーク、組織 | | |
| 第13回 | ヒューマンサービス⑦ 生活支援をする人と必要とする人 | 事前学習 | 発達的に人を理解する | 社会福祉 北爪克洋 | 社会福祉 水島正浩 |
| | | 事後学習 | その人らしい暮らしを支えるには | | |
| 第14回 | ヒューマンサービス⑧ 福祉職の専門性 | 事前学習 | 福祉の仕事に携わる人の資質や能力 | 社会福祉 北爪克洋 | 社会福祉 水島正浩 |
| | | 事後学習 | 福祉職の基本 | | |
| 第15回 | 共に生きる社会について-自己省察と自己課題- | 事前学習 | 共生社会とは | 社会福祉 北爪克洋 | 社会福祉 水島正浩 |
| | | 事後学習 | これからの自己課題をまとめる | | |
| — | レポート・修了式 | | — | | |